

# 放射線被ばく線量測定業務仕様書

## 1 目的

発注者において放射線被ばくの恐れのある業務に従事する職員を指定し、その被ばく線量を測定することを目的とする。

## 2 業務内容

- (1) 受注者は、発注者の指定する職員に対し、個人の放射線被ばく線量が測定可能な線量計を交付する。なお、線量計は装着容易な小型軽量型で、かつ作業に支障がないものとしなければならない。
- (2) 受注者は、発注者の職員が1ヶ月間身につけた線量計を回収し、受注者の施設にて受注者の定める方法により被ばく線量を測定する。
- (3) 受注者は、測定後、2週間以内に測定結果報告書を発注者に提出する。なお、報告書は、測定報告の内容を既存の管理システムに取り込むため、発注者の指定する形式で電子ファイルでも提出する。（別紙「被ばく線量測定データの電子報告仕様」参照）
- (4) 受注者は、測定結果について個人毎に測定後5年間保存し、発注者が提出を要求したときには遅滞なく提出する。（電子ファイルの保存、提出についても同様）
- (5) 受注者が変更となる場合は、従前の累積測定結果について、発注者から提供されたデータを引き継ぐものとする。
- (6) 委託期間の終了に伴い受託業者が変更となる場合、受注者は、当該業務の運営に支障のないよう、発注者が指定する業者と確実に業務の引継ぎを行うものとする。

## 3 予定数量

県立広島病院	区 分 (対象線種)	年間予定数量	予定数量 (3年間)
	体幹部用線量計 (X線・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線)	8,160件 (月680件)	24,480件
	体幹部用線量計 (X線・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線、高速中性子線、 熱中性子線)	144件 (月12件)	432件
	手指用線量計 (X線・ $\gamma$ 線、又は $\beta$ 線)	60件 (月5件)	180件
	眼部用線量計 (X線・ $\gamma$ 線・ $\beta$ 線)	600件 (月50件)	1,800件
県立安芸津病院	体幹部用線量計 (X線・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線)	675件 (月56件+ $\alpha$ )	2,025件

なお、いずれも予定数量であり、実際の数量は各月の実績による。

## 5 その他

- (1) 線量計取り寄せや交付、回収、結果の通知、及び使用者に対する説明等、この業務に関して必要な作業に係る経費については、受注者の負担とする。
- (2) 受注者は、線量計の紛失及び事故等が発生した場合は、速やかに代替線量計を無償で提供する。
- (3) 本仕様書に記載のないものについては、発注者と受注者が協議のうえ決定する。
- (4) 受注者は、ISO9001の認証を取得している事業者であること。
- (5) 受注者は、ISO/IES 17025に基づく認定を受けた事業者であること。

被ばく線量測定データの電子報告仕様

## 1. データ報告のタイミング

1ヶ月の間に測定報告されたデータを月1回月末にまとめて電子媒体に出力して報告書とは別に郵送する。

## 2. データ出力の順番

データが出力されている順番は次の昇順です。

- ① 報告日
- ② 事業所番号
- ③ 所属コード
- ④ 着用開始日
- ⑤ 着用終了日
- ⑥ 個人番号
- ⑦ 装着部位

## 3. 電子媒体の仕様

- ① 記録媒体 : CD-R等の電子媒体
- ② 記録形式 : IBMフォーマット、又はMS-DOSフォーマット
- ③ コード : EBCDICコード、又はJISコード
- ④ レコード長 : 256バイト/レコード
- ⑤ ファイル名 : DOSEFILE

#### 4. ファイルレイアウト

項目名	桁位置	バイト数	形式	備考	
報告日	1	6	数字	項目の説明(1)	
事業所番号	7	5	数字		
所属コード	1 2	2	英数カナ		
個人番号	1 4	5	英数字		
氏名	1 9	1 6	英数カナ		
氏名	3 5	1 6	漢字	項目の説明(2)	
性別	5 1	1	英字	項目の説明(3)	
生年月日	5 2	6	数字	項目の説明(1)	
ID番号	5 8	9	数字	項目の説明(4)	
バッジの種類	6 7	1	英字	項目の説明(5)	
装着部位	6 8	1	数字	項目の説明(6)	
着用開始日	6 9	6	数字	項目の説明(1)	
着用終了日	7 5	6	数字	項目の説明(1)	
ノート1	8 1	2	英数字	項目の説明(7)	
1 cm 線量 当量	X・ $\gamma$ 線	8 3	7	数字	項目の説明(10)
	$\beta$ 線	9 0	7	数字	
	熱中性子	9 7	7	数字	
	高速中性子	1 0 4	7	数字	
3 mm 線量 当量	X・ $\gamma$ 線	1 1 1	7	数字	項目の説明(10)
	$\beta$ 線	1 1 8	7	数字	
	熱中性子	1 2 5	7	数字	
	高速中性子	1 3 2	7	数字	
70 $\mu$ m 線量 当量	X・ $\gamma$ 線	1 3 9	7	数字	項目の説明(10)
	$\beta$ 線	1 4 6	7	数字	
	熱中性子	1 5 3	7	数字	
	高速中性子	1 6 0	7	数字	

項目名	桁位置	バイト数	形式	備考	
エネルギー範囲	1 6 7	1	英字	項目の説明 ( 9 )	
ノート 2	1 6 8	2	英数字	項目の説明 ( 8 )	
実効線量	1 7 0	7	数字	項目の説明 ( 1 0 )	
等価当量	水晶体	1 7 7	7		数字
	皮膚	1 8 4	7		数字
	その他	1 9 1	7		数字
	腹部	1 9 8	7		数字
F I L L E R	2 0 5	5 2		項目の説明 ( 1 1 )	

## 出力データ項目の説明

- ① 報告日  
着用開始日・・・西暦（年〔下2桁〕、月、日）  
着用終了日  
生年月日
- ② 氏名・・・・・・・・カナは16字、漢字は8文字（1文字2バイト）で富士通のJEFコード、MS-DOSではシフトJISコードです。
- ③ 性別・・・・・・・・M：男性　　F：女性
- ④ ID番号・・・・・・・・各事業所で独自に設定されているコンピュータ用の登録番号
- ⑤ バッジの種類・・・・・・・・L：TLD（X・ $\gamma$ 線用）  
R：リングバッジ（X・ $\gamma$ 線または $\beta$ 線用）  
C：　　〃（高速中性子線用）  
V：ガラス線量計（X・ $\gamma$ 線用）  
W：　　〃（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線用）  
P：ルクセルバッジ（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線用）  
Y：　　〃（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線、熱中性子線用）  
J：　　〃（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線、熱中性子線、高速中性子線用）  
Q：　　〃（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線、熱中性子線、高速中性子線用）  
S：クイクセルバッジ（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線用）  
K：　　〃（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線、熱中性子線、高速中性子線用）  
F：　　〃（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線、熱中性子線、高速中性子線用）  
N：　　〃（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線、熱中性子線、高速中性子線用）  
T：　　〃（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線、熱中性子線、高速中性子線用）  
X：クイクセルバッジ（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線用）（環境用）  
A：　　〃（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線、熱・高速中性子線用）（環境用）  
SG：ルミネスバッジ（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線用）  
KG：　　〃（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線、熱中性子線、高速中性子線用）  
NG：　　〃（X・ $\gamma$ 線、 $\beta$ 線、熱中性子線、高速中性子線用）  
VL：ビジョンバッジ（X・ $\gamma$ 線・ $\beta$ 線用）
- ⑥ 装着部位・・・・・・・・1：胸部　　2：腹部　　3：頭頸部　　4：右手指  
5：左手指　　6：右手首　　7：左手首　　8：その他体幹部  
9：その他末端部　　0：環境
- ⑦ ノート1・・・・・・・・測定値に対する特別注意事項です。（詳細は報告書裏面参照）
- ⑧ ノート2・・・・・・・・算定値に対する特別注意事項です。（詳細は報告書裏面参照）
- ⑨ エネルギー範囲・・・0.5ミリシーベルトを超えて被曝しているとき、 $\alpha$ ・ $\gamma$ 線の実効エネルギー範囲を記号で表わします。  
L：200KeV未満  
H：200KeV以上
- ⑩ 線量当量・・・・・・・・内部表現形式は9(5)V99（Vは想定小数点で桁位置のみを表す）で、単位はミリシーベルトです。  
線量が検出限界未満（報告書では“M”）の場合には“0000000”で、測定されない線種は“9999999”で表わされます。  
また、何らかの原因で測定が不能なもの（ノート1にA、B1～B6、DH、DJ、H、Iがつく）も“9999999”で表わされます。
- ⑪ FILLER・・・・・・・・空領域

## 5. その他

上記の「被ばく線量測定データの電子報告仕様」の同等品も可とする。